**第２６回観察会　2005年５月23日(月) 12:00～12:55　　　　天気不明**

**テーマ『はなやかな葉っぱ』**

**☆ガイドレポート植物編**

草の花がひととおり咲きおわり結実期をむかえています。一方木々は展葉（新しい葉を展開すること）する時季です。今回は葉をテーマにしました。

１．葉の数えかた
フジなどのマメ科やノイバラなどのバラ科の植物には複葉といって、１枚の葉が細かくわかれます。シダ植物の羽状複葉が有名ですが、細かい葉がたくさんあるようでも、それはあくまで切れ込みにすぎません。葉は芽からひらくもので、その芽は茎（または枝）につきます。裏を返せば葉のつけね（葉柄のつけね）には芽があるわけです。葉の数とはつまり、そのつけねの数だといえます。

２．葉の死にかた
じつは春や初夏もまた、黄葉や紅葉の季節です。みずみずしい展葉に目を奪われがちですが、常緑樹の多くが春先に展葉すると同時に古い葉を落葉させます。新陳代謝とイメージしてください。落葉樹は、春に展葉した葉を半年後にはすべて落葉させてしまいますが、常緑樹の多くは数年以上の寿命を持っています。常緑針葉樹は５-７年と長いこともあるそうです。カシの葉の寿命は３-５年のようですが、クスノキの葉の寿命は１年で、春に展葉しながら前年の葉が真っ赤に紅葉して落葉し、葉の総入れ替えをおこないます。村田源先生によればこれは「条件の良いところに生育する樹種にしかできない、贅沢な芸当」ということです。

３．葉の「咲きかた」
花もまた、芽から展開します。種によっては、混芽といって花と葉が一つの芽の中に作られます。また、展葉したての葉は枝先に集まっていることがおおく、コナラの芽吹きなどはまるで銀の花が咲いたように見えます。じつは、葉が枝先に集まり、色、形、大きさ、配置が特殊化した器官が花なのです。花の色鮮やかさは昆虫などに花粉を媒介させるためのもので、「緑以外の色素を多量に含んだ葉」です。果実の元となる子房は、卵細胞（胚珠）を葉が包んだものです。植物の体は、根、茎、葉（と花）によって構成されていると理解できます。

花または結実が観察された植物（順不同）：　　　　　　　　　　　　　　カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ（結実中）、サギゴケ、トキワハゼ、イモカタバミ、ヘビイチゴ（結実中）、クサイチゴ（結実中）、キツネノボタン、キショウブ、ゲンペイシダレモモ（結実中）、クスノキ（開花中）、トウサイカチ（結実はじめ）、チャンチンモドキ、シナユリノキ、ニワトコ（結実中）、トチュウ（結実中）、ウツギ、オオシマザクラ（結実中）、ヤマザクラ（結実中）、マグワ（結実中）、テイカカズラなど

ガイド：今村彰生さん（大学共同利用機関法人総合地球環境学研究所）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 木の葉の数え方から教えていただき、従来自分で考えていたこととは異なり初歩的なことであるが、よい勉強になりました。　　　　　　　（近所のかた）
* 初めて参加しましたがとてもよかったです。研究用の植物園ということで自然の植物林をみることができてよかった！案内者の説明も素人相手に具体的でわかり易く、次回もぜひ参加したいです。ありがとうございます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* とても興味深く話を聞かせていただきました。　　　　　　　　　（学外のかた）
* かいせつ者の話術がおもしろかった。　　　　　　　　　　　　　（実名OKなのに無記名のかた）
* ユクノキの花のみごろが楽しみです。幹と葉柄の区別の理解。　　　（近所のかた）
* 日頃植物を見ているのとは全く違った視点で植物を見ることが出来、大変興味深い時を過すことができました。　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 来てよかったです。葉の死に方とか葉の咲き方を意識して見るようになると思います。又来たいと思います。　　　　　　　　　　　　（今井教さん）
* もう少し長い時間（1時間半ぐらい）して欲しいです。その時々に特徴をもった草木の説明をして欲しいです。おもしろかったです。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 咲き方、死に方、数え方、ややむずかしいお話もありましたが、生命力を感じる五月に死に方の話はとてもよかった。同じことと思ってますので。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 樹木の多さに驚きました。今日の観察会では知っている様でもお話を伺い再発見しました。又参加したいと思います。　　　　　　　　（中西みどりさん）
* 初めて入園しました。知らずに見ていた"ただの木"にも色々と個性的な生命の不思議があるものだと観点の見方も興味深く知ることが出来ました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* ユクノキの花を必ず観に来たい。死に方の話は興味深い。来る度に新しい発見があるのがうれしい。　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 一般の植物園イメージで参加しましたが、専門的な観方を教えて頂きました。想像以上に巨大木や広域で驚きました。　　　　　　　　（学外のかた）
* 種類多くの観察を希望します。家庭でも沢山の植木を育てているので、生長過程や専門学的な特長の勉強を参考にして、見守って育てたいと楽しみな学びの機会にしたいと思い、こういう機会を又お願いします。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 植物園全体を観察する会を希望します。　　　　　　　　　　　　　（無記名のかた）
* 折角来たので、全体を歩いて見たかった。　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 私達とは異なる視点でのお話は楽しかったです。ユクノキの花を見るのも楽しみですが、このような観察会を続けていただきたいです。（初めて参加したかた）
* ユクノキの花を愛でに・・・。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（初めて参加したかた）
* 出来たら今回の終わりに次回のテーマをお知らせ下さればうれしいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* いい気持ちできれいで気持ちよい。すぐそばで生活（生息？）しているので、もう少し注目したいと思った。　　　　　　　　　　　　（近所にお住まいの京大関係者　中尾泰治さん）
* 説明がよくわかりました。おもしろかったです。　　　　　　　　　（学外のかた）
* 最近の植物対象の観察会は、始め頃と比べて、つまらなくなっているように思います。熱心に説明しておられるのですが、オシャベリに聞こえます。テーマをもっとしぼって、詳しく説明していただくと良いのではないかと思います。あまり専門的にならず、しかも少しは賢くなったとの印象が聞く者にいだかれるように、お願いします。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研　宮島敏明さん）